

# 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

## 2023年度 事業報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

### 【2023年度概要と成果】

- ・2023年度は、成果報告会、シンポジウム、助成金贈呈式などコロナ禍において自粛していたイベントを対面で実施したことにより、団体間や関係者との交流が促進され、財団自身や財団が実施する事業について認知度の向上につながりました。
- ・休眠預金等活用助成事業 2020年度通常枠の最終年を迎え、3年間の事業成果の可視化と持続可能な組織づくりに向けた伴走支援を行いました。4つの実行団体による社会的養護下にある子ども・若者の支援体制の構築、地域住民や企業等の関係者の広がりなど、助成金終了後の事業基盤づくりができました。
- ・一方で、今年度の強化事業に掲げていた事業指定助成プログラムについて応募実績がなかったことについては真摯に受け止め、法人の強みを生かした寄付集めの在り方を検討していきます。

### 【公益目的事業：公益活動支援助成事業】

#### 1. 助成事業

##### (1) 事業指定助成プログラム

- ・2023年度は2回の公募を行った。
- ・公募の結果、NPOからの申請相談は3件、新規応募は0件であった。
- ・今年度寄付総額：0円／助成総額：未実施

##### <第1回>

- ・公募期間：2023年8月1日～9月15日
- ・相談件数：2件
- ・申請件数：0件

##### <第2回>

- ・公募期間：2024年1月9日～1月31日
- ・相談件数：1件
- ・申請件数：0件

##### (2) テーマ・地域型基金

#### ア. 子どもの今と未来を支える基金（継続）

- ・経済的困難を抱える家庭の子どもたちへ「体験」「学び」の機会を提供する非営利団体（NPO法人等）への助成を行い、千葉県内における子どもの「体験」「学び」の機会の充実と拡充を図ることにより、「体験の格差」を解消することを目的とした助成を実施した。
- ・2023年度公募助成：

対象事業：

- ①千葉県内において経済的困難を抱える家庭の子どもたちに、「体験」や「学び」の機会を提供するための事業。

②経済的困難を抱える家庭や子どもたちが確実に参加できる事業。(行政やスクールソーシャルワーカー、子ども食堂、子どもの学習・生活支援団体など、地域のステークホルダーとの連携を推奨)

助成対象期間：2023年7月1日～2024年3月31日

申請受付期間：2023年4月25日～5月31日

申請件数：7件

採択件数：5件

助成総額：760,000円

・助成先：

団体名・所在地	活動内容	助成金額
NPO 法人 Matsudo 子どもの未来へ with us (松戸市)	松戸子ども食堂 冬のスノーキャンプ 2023 自然体験プログラム	200,000円
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団東関東事業本部 (習志野市)	生活困窮およびひきこもり児童・世帯への学習支援・食支援・居場所・相談事業	200,000円
特定非営利活動法人四街道プレーパークどんぐりの森 (四街道市)	中高生・若者のフリースペースふらっと	40,000円
NPO 法人教育サポート GAA (山武市)	オンラインホームスタディ事業	200,000円
Cozy Company (柏市)	森の冒険遊び場	120,000円

- ・昨年度に引き続き「コロナ禍と物価高騰により経済的困難を抱える家庭の子どもたちの『体験の格差』の解消」を目的に、クラウドファンディングサイト「コングラント」を活用して寄付を募った。
- ・今年度寄付総額：1,471,828円／助成総額：760,000円

#### イ. まつど子育てささえあい基金 (継続)

- ・「まつどでつながるプロジェクト」の活動をもとに、松戸市の親子の孤立を予防、制度の狭間にいる人に対する民間の取り組みを支援するための基金を設置し、ウェブサイトを活用し、寄付を募った。
- ・今年度寄付総額：0円／助成総額：未実施

#### ウ. 2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金 (継続)

- ・2019年台風15号、19号、10月豪雨による千葉県内の被災地における支援活動を支えるための基金から今年度は第6次助成を行った。
- ・今年度寄付総額：0円／助成総額：1,393,000円
- ・第6次公募助成：

対象事業：千葉県内の団体が実施する次の3分野の取り組みに必要な活動費、成果物の作成

- ①千葉県内での災害の影響を受けた活動場所の再生・整備に関する活動
- ②千葉県内での災害支援活動、復興活動を通じて顕在化した地域の課題に対する活動
- ③過去の災害からの気づきや学びを今後の災害に活かす活動

助成対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

申請受付期間：2023年1月10日～2月10日(2022年度)

申請件数：4 件

採択件数：3 件

・助成先：

団体名・所在地	活動内容	助成金額
一般社団法人四番隊（袖ヶ浦市）	小学生を対象に、防災、減災教育の約一時間のカリキュラムを作成。公民館や市民会館にて、災害への備えや災害に関する情報をクイズ形式で実施し、楽しく学んでもらう。多古町1回、富津市3回、鋸南町1回、袖ヶ浦市5回の開催予定	500,000 円
特定非営利活動法人光と風（旭市）	津波で住宅が破壊された「被災跡地」の有効な活用、敷地の整備を行う。あさひの芸術祭参加のほか他団体とイベントを共催する。	393,000 円
市原米沢の森を考える会（市原市）	2019 台風で被害を受けた市原米沢の森の復旧整備事業。遊歩道の復旧工事、草刈り整備、危険表示設置、イベント開催	500,000 円

## エ. 休眠預金等活用助成事業 2020 年度通常枠「社会的養護下にある若者に対する社会包摂システム構築事業」 (継続)

・本助成事業は、国及び地方公共団体が対応することが困難な社会的課題の解決を図り、民間公益活動の自立した担い手の育成並びに民間公益活動に係る資金を調達することができる環境を整備することを目的とし、「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（「休眠預金活用法」）」及び同法施行規則等関連法令の規程にもとづき実施する事業である。

・当財団は資金分配団体として、民間公益活動の公募、資金助成と非資金的支援を実施している。

・資金分配団体事業期間：2020 年 12 月 22 日～2024 年 3 月 31 日

・財源：休眠預金／助成総額（2023 年度分）：24,666,320 円

・事業概要：児童養護施設入所者、退所者等、適切な保護者の関与がなく強制的に自立を迫られる 15 歳～30 歳未満の基盤の弱い若者に対する、退所前の支援（キャリア教育、生活支援等）の質的・量的拡充と、退所後の支援（就労支援、住居支援、人材育成等）の質的・量的拡充を図り、多様な主体（施設、事業者、NPO、学校等）の連携により地域資源（第一次産業、地域産業、空き家、都市と農村等）を活用した安心して居ることのできる居場所の創出、地域とつながる仕事の創出をすることで、地域において退所した後も中長期につながることのできる社会包摂システムを構築する。

・助成期間（実行団体の事業実施期間）：2021 年 4 月～2024 年 1 月 31 日

・助成先：

団体名・所在地	活動内容	2023 年度 助成金額
一般社団法人はこぶね	こころをつなぐアフターケア事業～『あなたととも（友）にいる』オトモダチ作戦～ ／居場所運営、ボランティア・担い手育成プログラム構築	4,844,440 円
ちば子ども若者アフターケアコンソーシアム（構成団体：ちば子ども若者ネットワーク、社会福祉法人チルドレンス・パラダイス、NPO 法人長生夷隅地域のくらしを支える会）	ちば子ども若者アフターケアネットワーク ／ネットワークづくり、ケア者の人材育成、若者のアドボカシー	6,835,700 円
株式会社ベストサポート	大人の TERAKOYA まなぶ！つどう！つなぐ！～ ぼくらはアシタに歩いていく	6,578,680 円

	／就労支援プログラム開発実施、企業マッチング、居場所・シェルター運営、地域連携	
一般社団法人いっぽの会	社会へ『いっぽ』を踏み出す基盤づくり事業 セルフマネジメント（正しく SOS を出せる力をつける）／シェアハウス運営、生活支援・就労支援、地域連携	6,407,500 円

- ・当財団は助成先 4 団体に対し、伴走支援（事業進捗状況の確認、助言、組織基盤強化のための資金調達支援、人材育成支援、関係各所との調整）を実施した。また、指定活用団体である JANPIA との連絡調整や JANPIA 主催の研修に参加した。
- ・事業成果を広く周知するため、成果報告書「Topos とぼす」（B5 判カラー 1,600 部）を作成した。

#### 【2023 年度伴走支援内容】

- ・事後評価研修、チームビルディング研修の開催
- ・事後評価に関する学び合い開催 計 5 回、オンラインにて開催
- ・各実行団体の持続化・出口戦略検討支援
- ・事後評価実施、報告書作成支援
- ・規程類整備支援

#### 【成果報告会】

- ・日時：2024 年 3 月 18 日（月）13 時～17 時
- ・場所：メイプルイン幕張 研修室
- ・参加者：37 名
- ・満足度：4.77（5 段階評価）
- ・内容：休眠預金活用制度の概要と活用状況（JANPIA）、資金分配団体報告、実行団体報告、ワールドカフェ、ゲストコメント

#### オ. 休眠預金等活用助成事業 2023 年度通常枠「若年就労困難者のための包括的就労支援事業」（新規）

- ・本助成事業は、国及び地方公共団体が対応することが困難な社会的課題の解決を図り、民間公益活動の自立した担い手の育成並びに民間公益活動に係る資金を調達することができる環境を整備することを目的とし、「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（「休眠預金活用法）」及び同法施行規則等関連法令の規程にもとづき実施する事業である。
- ・当財団は資金分配団体として、民間公益活動の公募、資金助成と非資金的支援を実施している。
- ・資金分配団体事業期間：2023 年 10 月 17 日～2027 年 3 月 31 日
- ・財源：休眠預金／助成総額（2023 年度分）：未実施
- ・事業概要：千葉県において、従来の就労支援の枠組みから漏れ落ちる 15 歳頃～39 歳頃の若年就労困難者に対する「包括的な就労支援（①就労に至るまでの選択肢の拡充、②就労定着支援体制づくり、③社会資源を有効活用する仕組みづくり）」を実施することにより、働きづらさを抱えた若者が、自分に合った働き方や仕事を選択でき、地域社会のつながりや関係をつくりながら自立し、豊かで安心できる暮らしが送れる地域社会を目指す。

#### 【2023 年度実施状況】

- ・公募期間：2023 年 12 月 15 日～2024 年 2 月 29 日
- ・申請件数：5 件
- ・採択件数：3 件（うち 1 団体は 2024 年度第 1 回臨時理事会にて不採択決議）

### カ. 千葉県における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営支援事業（継続）

- ・本助成事業は、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育む居場所をつくり、そこをハブとして行政、NPO、市民、企業、研究者の方々と協力し、誰一人取り残されない地域子育てコミュニティをつくる事業である。
- ・財源：日本財団「子ども第三の居場所」助成金／助成総額：13,500,000 円
- ・事業概要：課題を抱えた児童を含む小中高生や、未就学児の親子など多様な人々が参加・交流できる居場所をつくり、地域の人々との交流を通じて人と関わる力や自己肯定感を育むとともに、課題を抱える子どもの早期発見や見守りを行う。
- ・当財団は日本財団、各自治体と三者協定を締結し、助成先団体に対し、事業進捗状況及びガバナンス・コンプライアンス体制の確認、助言、関係各所との調整、報告会等を実施した。また、日本財団との連絡調整や日本財団主催の研修に参加した。
- ・助成期間（実行団体の事業実施期間）：2023 年 4 月～2024 年 3 月 31 日
- ・助成先：

団体名・所在地	活動内容	2023 年度 助成金額
一般社団法人かんでんち	木更津市における子ども第三の居場所運営事業	6,700,000 円
NPO 法人 3.11 こども文庫	東金市における子ども第三の居場所運営事業	6,800,000 円

- ・木更津拠点「つながるかんでんち」報告会  
第 1 回：2023 年 9 月 10 日、木更津市「つながるかんでんち」にて開催  
参加者：33 名（一般 28 名／主催者 5 名）  
内容：日本財団子ども第三の居場所事業の説明、「つながるかんでんち」の活動報告、意見交換  
第 2 回：2024 年 3 月 25 日、木更津市「つながるかんでんち」にて開催  
参加者：13 名（一般 10 名／主催者 3 名）  
内容：「つながるかんでんち」活動報告、「木更津市の取り組みについて」（木更津市福祉部福祉相談課）、意見交換
- ・東金拠点「東金子ども・子育て支援地域懇談会」  
第 1 回：2023 年 10 月 19 日、東金市「おひさまの家」にて開催  
参加者：17 名（一般 14 名／主催者 3 名）  
内容：懇談会（行政から施策紹介、民間団体活動紹介・課題共有）、意見交換  
報告者：東金市子育て支援課、健康増進課母子保健係、東金市教育委員会、まいまいほーむ、コイノニア  
第 2 回：2024 年 2 月 28 日、東金市「おひさまの家」にて開催  
参加者：32 名（一般 30 名／主催者 2 名）  
内容：子ども第三の居場所コミュニティモデルについて説明、「おひさまの家」活動報告、意見交換

### (3) 冠基金プログラム

#### ア. さくら基金（継続）

- ・児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちが不安を抱えることなく、自立した生活を送ることができるように、支援団体が実施するキャリア支援事業やアフターケア事業などに活用される基金であり、今年度は寄付募集を行った。
- ・今年度寄付総額：96,400 円／助成総額：未実施

## 2. 資源仲介事業

公益活動を支援したい個人、企業、団体等からの資金以外の各種資源（人材、物品、情報など）を市民公益活動団体に仲介する事業であり、今年度は以下の事業を行なった。

### (1) 多様な寄付の機会の提供（今年度収入：239,272 円）

- ・寄付付き自動販売機（支援ベンダー）：新規設置 1 台（年度末時点 7 台設置）（134,965 円）
- ・買取寄付プログラム「カイトリ」：実績なし
- ・使用済みインクカートリッジ回収ボックス設置：5 ヶ所（850 円）
- ・切手・ハガキ寄付（24,079 円）

これらの寄付金は公益目的事業運営、「子どもの今と未来を支える基金」への寄付に充当した。

- ・募金箱の設置：1 ヶ所（3,403 円）
- ・寄付付き商品：認定 NPO 法人リヴォルヴ学校教育研究所（茨城県）発行の英単語カレンダー、ひらがなれんしゅうちょう等を生活クラブ生協の組合員向けに販売した。（75,975 円）

これらの寄付金は「子どもの今と未来を支える基金」への寄付に充当した。

- ・物品寄付：カレンダー寄贈

これらの寄贈物品は寄付者の意向に沿って千葉県内の公益活動団体に届けた。

### (2) 情報共有の場づくり

#### ア. 助成事業成果報告会

寄付者への感謝を込めて、助成団体の報告を通じて、寄付がどのように活動団体の成長に役立ったか、課題解決に貢献したかを共有することを目的に開催した（寄付月間賛同企画）。

日時：2023 年 12 月 16 日 13 時 30 分～16 時 30 分

場所：ユーススペース千葉

参加者：19 名（助成団体 7 名／一般 6 名／主催者 6 名）

内容：2022 年度助成事業成果報告、グループディスカッション

報告団体：「2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金」第 3 次・第 4 次助成団体（特定非営利活動法人たてやま・海辺の鑑定団、特定非営利活動法人光と風、市原米沢の森を考える会、特定非営利活動法人ディーブデモクラシー・センター）、「子ども第三の居場所」助成団体（一般社団法人かんでんち、NPO 法人 3.11 こども文庫）

## 3. 助成業務等支援事業

今年度の受託事業はなかった。

## 4. 他機関等との連携

### (1) 一般社団法人全国コミュニティ財団協会

- ・全国コミュニティ財団協会は、コミュニティ財団の健全な発展を通じて、市民社会のより一層の成熟と市民が主体的に取り組む地域社会の課題解決を促し持続可能性を高め、公共の利益を増進することを目的として設立をしたコミュニティ財団の全国組織である。
- ・当財団は、加盟団体であり、当財団の専務理事・事務局長が協会の理事（非常勤）を務めている。
- ・今年度は、以下の事業に参画した。
  - (1)理事会、社員総会、会員意見交換会、関東ブロック会議、年次大会への参加
  - (2)全国コミュニティ財団協会との共催による「遺贈寄付ウィーク 2023 意志ある寄付を未来につなぐ、『遺贈寄付』の可能性」シンポジウムを開催した。
  - (3)会員向け研修会（PO研修、災害支援基金調査報告会）への参加
  - (4) 事前オンラインヒアリングの協力

## (2) 一般社団法人全国レガシーギフト協会

- ・遺贈寄付、資産寄付への関心が高まりつつある昨今、遺贈寄付が本人の望む最適な形で実現し、寄付した財産が地域の未来資産となり世代を超えて継承される社会を実現するために、全国的な仕組みとして全国レガシーギフト協会が2016年11月に設立された。当財団は加盟団体として今年度以下の事業に参画した。
- ・遺贈寄付に関する相談窓口を設置し、対応。今年度の相談実績4件。

## (3) ちばソーシャルビジネス支援ネットワーク

- ・本ネットワークは、地域社会の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス事業者を支援するため、主に千葉県内の金融機関5機関と中間支援組織により2017年1月に発足した組織である。
- ・ソーシャルビジネス支援ネットワーク会議：1回開催
- ・ソーシャルビジネスセミナー&相談会：1回開催  
日時：2023年10月26日13時～16時  
場所：日本政策金融公庫千葉支店会議室、オンライン  
内容：基調講演、事例発表、個別相談会  
参加者：21名（会場16名／オンライン5名）

## (4) その他

### ア. 啓発事業・講師派遣（174,280円）

- ・千葉大学文学部社会調査実習授業にて活動紹介を行った。
- ・まつど市民活動サポートセンター主催「市民活動助成サポート講座」に登壇し、助成事業等の紹介を行った。
- ・千葉の未来勉強会にて活動紹介を行った。
- ・（一財）日本民間公益活動連携機構（JANPIA）主催「2022年度PO2年目研修」に登壇し、事例発表を行った。
- ・（一財）日本民間公益活動連携機構（JANPIA）主催「休眠預金活用事業POギャザリング2023」のトークセッションに登壇した。
- ・八街市主催「地域力向上スクール」にて、講師を務めた。

### イ. 他機関との連携協働

- ・千葉県内の支援組織、自治体との情報共有を図ることを目的に、千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議（千葉県主催）に加盟し、ネットワーク会議に参加した。
- ・印西市市民活動推進委員会に委員として事務局長が就任し、委員会への出席、企画提案型協働事業の審査にあたった。
- ・子ども食堂やフードバンクなど食を通じた支援にかかわっている団体が直面する課題を共有し、実施団体や中間支援組織、自治体や企業が相互に連携することを目的に、食でつながる in ちばの会に参画した。

## ウ. その他

- ・助成申請案件以外にも NPO 等からの相談対応を随時行った。

## 5. 財団運営活動

### (1) 情報発信・啓発活動

- ・助成団体の取材記事をホームページで紹介しているほか、公募情報や活動報告など情報発信を随時行った。
- ・年次報告書（カラー16P）を作成し、寄付者や関係者に配布した。
- ・メールマガジンをリニューアルし、8月より毎月1回配信した。
- ・外部からのヒアリングに随時対応した。

### 【遺贈寄付啓発・促進】

- ・遺贈寄付の啓発・促進を目的に「遺贈寄付ウィーク 2023 意志ある寄付を未来につなぐ、『遺贈寄付』の可能性」を開催した。

日時：2023年9月12日 12時45分～15時15分

場所：オアシス妙典

内容：＜第1部＞全国同時開催「コミュニティ財団と地域金融機関が連携する意義と地域のためにできること」

＜第2部＞千葉独自開催・基調講演「意志ある寄付を未来につなぐ、遺贈寄付の可能性」、ちばのWAの取り組み・事例紹介、個別相談

参加者：11名（金融機関3名、NPO関係2名、相続・高齢者支援団体2名／主催者4名）

### 【ちばSDGsパートナー】

- ・県内企業等への広報周知、連携協働を目的に、千葉県が実施する「ちばSDGsパートナー登録制度」に登録した。
- ・千葉県主催「令和5年度SDGsセミナー」（2月5日開催）に参加し、県に企業、団体と情報交換を行った。

### 【メディア掲載】

- ・7月12日東京新聞千葉版：校外の「体験格差」解消へ 困窮家庭の子どもにも助成 千葉市の公益財団法人
- ・8月21日、31日チバテレ「news ちば」「ちば朝ライブ・モーニングこんぱす」：子どもの体験活動 参加の機運・環境を
- ・3月19日チバテレ「news ちば」：SDGs推進キャンペーンで集まった寄付金 ちバテレから支援団体に贈呈

### (2) 資金調達活動

- ・理事を中心に新規個人や法人に対しての寄付依頼、既存寄付者への依頼、ウェブサイトを活用して呼びかけを行った。
- ・多様な資金を助成事業に活用するために、休眠預金やその他の助成金申請を検討、実施した。

### (3) 当財団への寄付 (2,645,747 円)

- ・継続的に財団運営を応援してもらう仕組みとしてのサポーター登録の呼びかけを実施している。現在サポーターは 6 名、寄付額は 167,000 円となった。
- ・その他に、当財団事業運営への寄付として 2,478,747 円（支援バンダー、切手ハガキ含む）の寄付を受領した。

## 【法人運営（管理）事業】

### 1. 機関会議の運営

#### (1) 評議員会の開催

- ・第 1 回評議員会（2023 年 6 月 12 日 19 時～20 時 45 分 オンライン）
  - 第 1 号議案 2022 年度事業報告及び附属明細書の承認
  - 第 2 号議案 2022 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認
  - 第 3 号議案 「役員の報酬等並びに費用に関する規程」改定について
- 報告事項 2023 年度事業計画及び予算について、「個人情報等管理規程」改定について

#### (2) 理事会の開催

定例理事会は 4 回、臨時理事会を 2 回開催した。

- ・第 1 回理事会（2023 年 5 月 24 日 19 時～21 時 25 分 オンライン）
  - 第 1 号議案 2022 年度事業報告及び附属明細書の承認
  - 第 2 号議案 2022 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認（監査報告）
  - 第 3 号議案 評議員会の招集日時・内容
  - 第 4 号議案 常勤役員報酬月額承認
  - 第 5 号議案 個人情報等管理規程改定について
- 報告事項 助成事業進捗報告、助成業務等支援事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告
- ・第 1 回臨時理事会（2023 年 6 月 28 日 19 時～19 時 45 分 オンライン）
  - 第 1 号議案 「子どもの今と未来を支える基金」2023 年度助成先の承認
  - 第 2 号議案 顧問の選任について
- ・第 2 回理事会（2023 年 9 月 13 日 19 時～21 時 25 分 オンライン）
  - 第 1 号議案 借入金の返済について

第2号議案 休眠預金等活用法に基づく2023年度通常枠実施に係る、一般財団法人日本民間公益活動連携機構との資金提供契約締結について

第3号議案 日本財団子ども第三の居場所2024年度申請について

第4号議案 「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金」第6次助成先（一般社団法人四番隊）助成期間変更について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況の報告、助成事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告

・第2回臨時理事会（2023年9月28日19時～19時30分 オンライン）

第1号議案 日本財団子ども第三の居場所2024年度申請について

・第3回理事会（2023年12月4日19時～20時50分 オンライン）

第1号議案 謝金規程の制定について

第2号議案 出張旅費規程の制定について

第3号議案 育児・介護休業に関する規程の改定について

第4号議案 公益通報者保護規程の改定について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況の報告、助成事業進捗報告、資源仲介事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告

・第4回理事会（2024年3月13日19時～20時55分 オンライン）

第1号議案 2024年度事業計画及び収支予算書等承認の件

第2号議案 借入金返済の件

第3号議案 事務処理規程の制定について

第4号議案 助成等選考委員の選任について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況の報告、助成事業進捗報告、資源仲介事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告

### （3）監査の実施

- ・監事が全6回の理事会にいずれも出席し、業務監査を実施した。
- ・2023年5月17日に2022年度の監査を実施し、監査報告書を作成した。また第1回理事会、定時評議員会に出席し、監査報告を行った。

### （4）コンプライアンス委員会の開催

コンプライアンス規程に基づき委員会を設置し、開催した。

・第1回（2023年10月5日10時～10時35分 オンライン）

出席者：泉貴嗣理事（コンプライアンス担当理事）、金山卓晴弁護士、志村事務局長、元吉総務担当  
議題：法人運営状況についての報告、内部通報運用状況について

・第2回（2024年2月27日10時～10時55分 オンライン）

出席者：泉貴嗣理事（コンプライアンス担当理事）、金山卓晴弁護士、志村事務局長、元吉総務担当  
議題：法人運営状況についての報告、内部通報運用状況について、全国コミュニティ財団協会の日本財団助成事業についての状況報告

## 2. 役員に関する事項

### (1) 評議員

今期中の就任、退任はなし

### (2) 理事

今期中の就任、退任はなし

### (3) 監事

今期中の就任、退任はなし

## 3. 事務局体制

### (1) 組織体制

- ・期首は4名在籍、期末時点で、事務局職員3名が（常勤2名、パートタイム1名、事務局長含む）が在籍している。
- ・武蔵野大学社会福祉学科よりインターン1名を受け入れ、180時間の実習を行った。

### (2) 各事業の人員配置

助成事業・資金調達事業担当・受託事業：2名  
経理・総務・事業経理：1名  
法人管理運営：1名（兼務）

### (3) 職員研修とスキルアップ

- ・一般社団法人全国コミュニティ財団協会によるプログラムオフィサー研修、実地研修に職員2名が参加した。
- ・一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）によるプログラムオフィサー研修に職員2名が計2回参加した。
- ・一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）によるコーチング研修に職員1名が計6回参加した。

## 4. 寄付者等の情報管理（Donor Relationship Management）

個人情報保護方針等に従い、寄付者等財団支援者の情報管理を徹底するとともに、DM等で寄付者への事業・成果報告、コミュニケーションを円滑に行えるよう、Salesforce社のシステムを利用、データベースの適切な管理と活用を行っている。

Salesforce利用にあたっては、Salesforce社や（公財）京都地域創造基金のサポートを受け、効率運用できるよう取り組んでいる。

※Salesforce：CRMクラウドサービスを提供する業界トップのグローバル企業。NPO法人等への無償提供プログラムなどCSRにも積極的に取り組む。<http://www.salesforce.com/jp/>

添付資料：

- ・2023年度 ちばのWA地域づくり基金助成等選考委員会選考会開催状況
- ・業務執行理事の職務執行状況報告
- ・間接的な寄付についての報告

**2023 年度 ちばのWA地域づくり基金助成等選考委員会  
選考会開催状況**

**■子どもの今と未来を支える基金 2023 年度助成**

助成対象：公益的・社会的な活動を行う非営利団体かつ千葉県内に事務所を有しているもしくは千葉県内で活動している団体

募集方法：公募

選考方法：申請書類及び団体情報開示内容をもとに、選考委員 4 名による審査を行った。

助成等選考委員会：

- ・日時：2023 年 6 月 14 日 9 時～12 時 30 分
- ・会場：オンライン
- ・選考委員（五十音順・敬称略）：飯田 耕一、上原一紀、勝又恵里子、桜井義維英

選考基準：

- (1) 公益性：事業・活動の目的、ターゲット明確であり利益が開かれているか。また、それらが助成の趣旨に合致しているか。
- (2) 必要性：「体験の格差」の解消に有効か。対象となる家庭の子どもやその家族のニーズを把握し反映されているか。
- (3) 実現可能性：事業実施が確実に見込まれるか。体制が整っているか。
- (4) 団体の適格性：団体等の過去の活動実績がその目的に沿ったものか。団体の経済状況が支援を必要とするものか。
- (5) 資金の必要性：資金使途の明確さと必要性、金額の妥当性

選考結果：5 事業採択

選考結果の公表：当財団ホームページ上での公開

**■休眠預金等活用助成事業 2023 年度通常枠「若年就労困難者のための包括的就労支援事業」**

助成対象：15 歳頃から 39 歳頃で様々な要因で無業状態、働きづらさを抱えた若者への支援実績があり、本事業が目指す若者の就労・定着支援、多様な主体による支援の仕組みづくりを実施できる団体

募集方法：公募

選考方法：申請書類並びに面接審査をもとに、選考委員 6 名による審査を行った。

助成等選考委員会：

- ・日時：2024 年 3 月 27 日 10 時～17 時 30 分
- ・会場：ホテルメイプルイン幕張
- ・選考委員（五十音順・敬称略）：青砥祥子、上野 聡、清水洋行、鈴木祐司、津富 宏、牧野昌子

選考基準：

- (1) ガバナンス・コンプライアンス：包括的支援プログラムに示す事業を適確かつ公正に実施できるガバナンス・コンプライアンス体制等を備えているか、また、適切な資金管理とそれを実現する体制（経理会計能力等）があるか

- (2) 事業の妥当性：事業対象となる社会課題について、問題構造の把握が十分に行われているか、また、解決したい社会課題に対して事業計画（課題の設定、目的、事業内容）が妥当であるか
- (3) 実行可能性：業務実施体制や計画、予算が適切か、また、当該地域、当該分野の活動実績があるか
- (4) 継続性：助成終了後の計画（支援期間、出口戦略や工程等）が具体的かつ現実的か
- (5) 先駆性（革新性）：社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか
- (6) 波及効果：事業から得られた学びが組織や地域、分野を超えて社会課題の解決につながることを期待できるか
- (7) 連携と対話：多様な関係者との協働、事業の準備段階から終了後までの体系的な対話が想定されているか

選考結果：選考会において3事業採択（うち1団体は2024年度第1回臨時理事会にて不採択決議）

選考結果の公表：当財団ホームページ上での公開

## 業務執行理事の職務執行状況報告

### ■理事長

- ・ 理事会、評議員会出席
- ・ 2022 年度監査出席
- ・ 事務局打合せ出席、会計承認
- ・ 「子どもの今と未来を支える基金」助成事業審査会、贈呈式出席
- ・ 2023 年度助成事業成果報告会出席
- ・ 寄付金授与式出席（千葉テレビ、千葉興業銀行、個人）
- ・ 感謝状贈呈式出席（千葉テレビ、上野工業所）
- ・ 京葉銀行遺贈担当者説明出席
- ・ 採用面接
- ・ 休眠預金活用事業実行団体監査
- ・ 一般社団法人全国コミュニティ財団協会総会、会員意見交換会出席

### ■副理事長

- ・ 理事会出席
- ・ 周知活動として、毎月アーティストとともに配信、当財団の活動周知、寄付募集 PR の実施

### ■専務理事

- ・ 事業報告書作成提出、法人管理業務
- ・ 理事会準備、運営、評議員会準備、運営
- ・ コンプライアンス委員会開催
- ・ 職員採用活動、研修企画実施
- ・ 法人会計、労務管理
- ・ 助成金申請
- ・ 契約文書の発簡
- ・ 各助成事業進捗確認、報告書まとめ等
- ・ 契約範囲内の業務執行
- ・ 諸規程に基づく支出の執行
- ・ 諸規程の制定及び改定

### ■理事長（決裁）

- ・ 2023 年 4 月 1 日 日本財団「子ども第三の居場所」コミュニティモデル運営事業助成契約締結の件
- ・ 2023 年 4 月 1 日 木更津市・東金市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデル助成事業契約締結の件
- ・ 2023 年 4 月 1 日 休眠預金活用事業 2020 年度通常枠 PO 育成支援契約締結の件
- ・ 2023 年 5 月 15 日 子どもの今と未来を支える基金助成選考委員委嘱の件
- ・ 2023 年 7 月 10 日 子どもの今と未来を支える基金助成先団体覚書締結の件
- ・ 2023 年 10 月 17 日 休眠預金活用事業 2023 年度通常枠資金提供契約締結の件

- ・2023年11月9日 贈与契約締結の件
- ・2023年11月29日 休眠預金活用事業 2023年度通常枠社会的インパクト評価遂行支援業務契約締結の件
- ・2023年11月29日 休眠預金活用事業 2020年度通常枠 成果報告書作成業務委託締結の件
- ・2024年1月10日 休眠預金活用事業 2023年度通常枠助成選考委員委嘱の件

以上

## 間接的な寄付についての報告

### ■寄付付き自動販売機（支援ベンダー）設置場所

- ・株式会社エスプールプラス わーくはびねす農園（船橋市）2台
- ・有限会社飯田産業（千葉市）1台
- ・株式会社ソーケン製作所（市川市）1台
- ・ホテルメイプルイン幕張（千葉市）1台
- ・NPO 法人みらい工房（茂原市）1台
- ・社会福祉法人みらい工房（千葉市）1台

### ■使用済みインクカートリッジ回収ボックス設置場所

- ・NPO 法人子ども劇場千葉県センター
- ・認定NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
- ・多世代交流拠点おおなみこなみ
- ・あすみが丘ガーデンコート自治会
- ・四街道市みんなで地域づくりセンター

### ■募金箱

- ・ホテルメイプルイン幕張

以上